第 7 回世界デフ水泳選手権大会日本代表選手・スタッフ選考基準

2026年11月選考委員会決定

1. 基本方針

全種目において、世界デフ水泳選手権大会の競技会参加基準を満たしている者の中から、競技力はもとより、いかなる環境下においても自己管理を徹底し、最大限のパフォーマンスを発揮できる選手を選考することを基本方針とする。
また、競技成績に加え、一般財団法人全日本ろうあ連盟の会員登録および一般社団法人日本デフ水泳協会の競技会参加会員・支援会員登録を完了し、本協会の編成方針を遵守できる選手およびスタッフを選考する。

2. 選考の対象となる競技会(選手)

第7回世界デフ水泳選手権大会日本代表選手の選考対象競技会は、以下の競技会とする。

- 開催日:2027年1月11日(祝)
- 会場:千葉国際総合水泳場

選考は上記競技会のみを対象として実施する。
世界デフ水泳選手権大会への出場を希望する選手は、当該競技会に出場し、別表に定める派遣標準記録を突破しなければならない。

3. 選考手続き

選考委員会は、第 10 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会終了後、速やかに本選考基準に基づき審査を行い、選考基準を満たした選手の中から代表選手を選考する。

4. 選考基準

(1)代表選手の選考基準

代表選手として選考されるためには、第10回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会(以下「知的新春大会」という。)において、日本デフ水泳協会ホームページに掲載する「第7回世界デフ水泳選手権大会基準記録」を1種目以上突破していなければならない。
また、上記基準記録を突破した選手が、基準記録を突破していない他の種目へエントリーを希望する場合は、次のいずれかの競技会において、当該種目の「Competition Entry Standards(競技会参加基準)」A標準記録を突破していなければならない。

1. 知的新春大会
2. 2026年4月1日以降に開催された本協会指定大会(知的新春大会の前の指定大会まで)
3. 2026年4月1日から知的新春大会までに開催された日本水泳連盟公認大会

(2)代表スタッフの選考基準

代表スタッフは、次のすべての要件を満たす者とする。
① 聴覚障害に対する十分な理解と配慮を有し、自らの役割を適切に遂行するとともに、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援できる者
② 心身ともに健康であり、国際大会への派遣に支障がないと選考委員会が認めた者

5. 不服申立て

選考結果に不服がある者は、代表内定者発表の日から起算して2週間以内に、文書により日本デフ水泳協会不服審査会へ申立てを行うことができる。